



旭小ブログほぼ毎日更新中！最新情報はブログをご覧ください！

旭の子だより

～かしこく やさしく たくましい 旭の子～ No.7(2024.11.6)



母のことば

～大切なのは結果よりも次につながる言葉がけ～



校長 半田 幸弘

運動会直前、校庭で徒競走の練習をしている。みんな一生懸命に走っているが、競争である以上、一位になる子とビリになる子が必ずいる。私が小学生の頃、徒競走は常にビリだった。決して運動が嫌いなわけではなく、運動会は好きだったが徒競走はダメだった。(先日の佐藤先生のかっこ教室から考えるに、速く走るコツをつかめていなかったのだと思う)

特に悔しかったのが6年生での200m徒競走。まずはスタートダッシュでビリ。ああ、今年もかと思っていると、先を走る友だちが第1コーナーで転んだ。それを抜かし、初めてのビリにならなくて済むと心が躍り、さらになんぼった。しかし200mは結構長い。バックストレートまでは持ちこたえたが、第3コーナーでみごとに抜かれ、そのままゴール！その時の証拠写真がアルバムに残っている。(左写真:前を走るのが私、この後に抜かれる。足が蹴り上がってなくて、いかにも遅そうである)



よく母が言っていた「幸は短距離が苦手ななあ、小学校ではいつもビリ、小6の時は転んだ子にも抜かれちゃうんだもんなあ。それでも最後まで一生懸命に走りきったのはえなかった、根性だけはある！」これ以外にも受験や部活の大会、採用試験などの際、不安になっている私に、母は

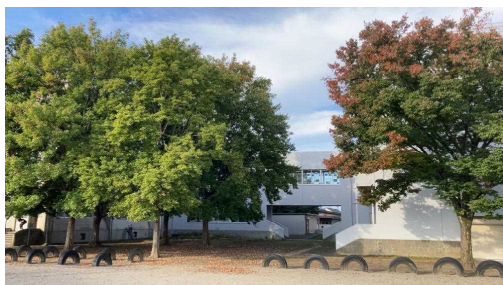
「おまえは根性があるから大丈夫！」と言い、自分は根性があるんだ、大丈夫だ、と思わせてくれた。(右写真:当時ど根性ガエルのアニメがあり、そのイラストを描いた応援旗を姉が作ってくれた)



今でも短距離走は遅いまだ。でもそれでよかったと思っている。なぜならそのお陰で長距離走が好きになった。とにかく根性で走り込めば人並み以上にはなった。高校2年では陸上部でもないのに男子生徒約400人のマラソン大会で7位になった。それ以来、現在に至るまで走り続け、様々な市民マラソンにも出場している。これまでの最高成績は熊谷で行われた小さなハーフマラソン大会で40歳代の部2位で銀メダルをもらった。加齢とともにどんどんタイムは落ちて、苦しい走りになることも多いが、母の言っていた「おまえは根性があるから大丈夫！」との言葉を思い出しながら今も走り続けている。

さて、いよいよ運動会。小学校では、学校にとってはもちろん、子も親も一生懸命の一大行事である。運動が苦手な子もいる、不器用な子もいる(小3の運動会のダンスで私はスキップができなかった)、順位にかかわらず、出来栄にかかわらず、一生懸命にがんばっている子どもたちに、次につながるあたたかい言葉がけのある運動会になることを願っている。

給食室新築のお知らせ～校舎北東側が工事区画となります～



校地西側にある給食室は開校以来の施設で築41年目です。それだけの年数を経ているが、給食員や栄養教諭などの様々な努力により安心安全な給食を提供しているところです。ただ、床にひび割れが見られたり、食材の搬入条件がよくなかったりと古い施設ならではの心配はつきません。そんな思いでいたところ、新しい給食室が着工することとなりました。場所は家庭科室(プラッツ)前の中庭です。木々が

多く、ちょうどよい校庭の日よけ空間だったのでたいへんに残念ではありますが、より安心安全な給食を供給するためには仕方ありません。

工事期間は運動会終了後の令和6年11月から令和7年春です。工事区画となる校舎北東側の出入り等でたいへんご迷惑をおかけしますが、工事現場の注意書きや案内等にさせていただきまますようお願い申し上げます。



木々が日差しや小雨から子どもを守ってくれました

元校長先生が来校～～～～～～～～～～

先日、本校第12代校長今井東先生(左:H27-28在職)、本校第14代校長栗原正治先生(右:H30-R3在職)が来校してくださいました。



本校の歴史や伝統、旭小地域のよさと学校への期待、今も変わらない旭小の子どもと保護者の素晴らしさなど、いろいろ教えていただきました。

お二人に共通していたのは旭小愛にみちあふれていたことです。

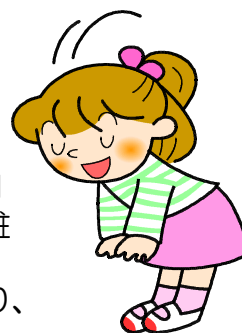
私も旭小愛では絶対に負けないようがんばっていきたくと思った時間でした。



駐車トラブルにならないようご注意ください ～学校は関わるできません～

運動会開催時、学校には保護者用駐車場が準備できません。できる限り徒歩または自転車で御来校いただきますようお願いいたします。自家用車での来校の場合には近隣の公共駐車場(2時間以上は有料)をご利用ください。また学校周辺の道路は駐車禁止です。加えて近隣商業施設駐車場への駐車はしないようお願いいたします。

駐車違反や駐車に関わるトラブルは運転者または所有者の責任であり、学校が関わることはできません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



半田のつばやき～こんな運動会がいいなあ～

ある小学校の運動会徒競走で二人の子がトップでほぼ同時にゴールした。ゴールラインの横で、審判の先生が指しながら大きな声で「一位！二位！」と決めた。すると二位と言われた子の保護者らしき人がビデオカメラを持って現れた。真横ではないものの、斜め前方から撮った映像を審判の先生に見せ、我が子が一位とのアピールをしている。そこで競技が止まり、周囲からの冷たい視線を感じ、引き下がったそうだ。その小学校は翌年の運動会から徒競走は順位を決めず、ゴールまで走るだけになったとのこと。

社会では結果が全ての世界があるかもしれないが、小学校の運動会は結果ではなく、子どもたちが競い合う楽しさを感じ、お互いに称え合い、先生はもちろん、保護者や地域の方々から子どもたちのがんばった姿を大いに称賛する運動会であってほしい。